令和７年度　共に学び 認め励まし鍛え合い 笑顔輝く児童の育成

学校だより かがやく笑顔

R8. 3. 2　潮来市立牛堀小学校　No.15

梅香る学び舎に、スローガンの実りを結んで

校庭の隅で寒さに耐え抜いた梅の蕾が、清らかな香りと共にほころび始めました。百花に先駆けて咲く梅の花は、厳しい冬を乗り越えたからこその力強さと、春を呼ぶ希望を感じさせてくれます。この梅の香りに包まれるようにして、令和７年度の締めくくりとなる３月を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、この１年間、本校の教育活動に温かなご理解と多大なるご支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

本年度、牛堀小学校では「元気・本気・思いやり、そして笑顔」というスローガンのもと、子どもたち一人一人が自分らしさを発揮できるよう取り組んでまいりました。

振り返れば、朝の正門で響く「元気」なあいさつは、学校全体の活力を支える源となりました。授業や行事で、真っすぐに取り組む「本気」のまなざしは、見る者の心を揺さぶる感動を与えてくれました。困っている友達にそっと手を差し伸べる「思いやり」の心は、校内のあちこちで優しい風を吹かせ、それらすべての活動の先には、常に子どもたちの輝く「笑顔」がありました。

特に、もうすぐ学び舎を巣立つ６年生の姿は立派でした。梅の花が「忍耐」の先に美しい花を咲かせるように、最上級として重責を担いながら、日々の努力を積み重ねてきました。下級生をリードする際に見せた「思いやり」や、困難な課題にも「本気」で挑む姿勢は、牛堀小学校の素晴らしい伝統として後輩たちの心に深く刻まれたと思います。３月１９日（木）の卒業証書授与式では、その集大成として、胸を張って未来へ羽ばたいていく姿を皆様と共に祝福したいと思います。

在校生も、この１年で体も大きく、逞しくなりました。今の学年で蓄えた力は、まさに梅の「実」のように、次なるステージで自分たちを支える栄養となります。「自分はこれだけ頑張った」という自信を胸に、進級という新たな階段を一段ずつ登ってほしいと願っています。

別れと出会いの季節、私たちは子どもたちがこれまで積み上げてきた「元気・本気・思いやり」を改めて称賛し、最後の一日まで満開の「笑顔」で今年度を締めくくれるよう、教職員一丸となって尽力してまいります。今後とも、変わらぬご協力をお願い申し上げます。

TEL 64-5536　FAX 64-5044　HP https://www.itako-school.jp/ushibori-el
（学校だよりは、ホームページでも公開しています。ぜひアクセスしてください。）